



学校便り
文責
村上 貴茂弘

残暑の中の朝活

九月も半ばを過ぎましたが、毎日残暑が厳しいですね。もしかすると今後は九月を残暑と呼ばずに猛暑と呼ぶようになるかもしれません。朝のラジオ体操だけでみんな汗だくになっていきます。今後の気候変動が心配されます。

本校では朝の活動はランニングを基本としていますが、二期期は暑さが収まるまで、楽しく体を動かせるような取組に変更しています。本日は「けいどろ」を行いました。 「おにあそび」をしたり、スポーツテストの再チャレンジをしたりもしました。また、縦割り班で「バスケットボール」「だるまさんがころんだ」「ドッジボール」なども行いました。

みんな楽しく参加できていることも大事ですが、この朝の活動を、体育委員の子供たちが取組の主体となつて行っているところを大切にしています。

自分たちで考えて自分たちで取り組む活動を、これからも増やしていきたいと思つて言います。それが「自分LOVE」「友達LOVE」につながるよいのですが。



小中合同学習（寺子屋）

小中一貫・連携教育を充実させるため、これまでも合同運動会や伝統文化学習で中学生とともに取り組んできました。その上で、もう一歩進めようと中学校と話し合い、「東陽寺子屋」をおこなっています。これは小中学生全員で縦割り班ごとに学習会を行うものです。子供同士で教え合いを行っています。小学校寺子屋として小学生だけで学習会を実施することもありますが、そのときには低学年の子供に高学年の子供たちが教えています。中学生が一緒だと、高学年の子供たちも中学生に聞いて学んでいます。

下の学年の子供は教えてもらうことで上の学年に憧れ、上の学年の子供は教えることで自己肯定感や自己有用感の向上につながります。小学生だけ、中学生との合同と形を変えて、学び合い活動を推進していきます。



東陽のよさを味わう（栗ご飯）

東陽小学校（東陽給食センター）には、毎年秋になると、地域のU様から収穫した栗をいただいています。今年は栗に關しても高温障害が発生しているらしく、きれいな栗がとて少ないそうです。そのような中で、今年も約十二キロの栗をご提供いただきました。どうもありがとうございます。

センターだけでは処理ができないため、地域学校協働活動の委員さん方に皮むきをしていただき、おいしい栗ご飯を賞味することができました。とてもおいしかったです。みんな笑顔で「東陽LOVE」になりました。

